
四日市市
介護人材実態調査
報告書

令和8年7月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
(1) 介護人材実態調査（事業所票）	2
(2) 介護人材実態調査（職員票）	7

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内の介護保険サービス提供事業所(居介・包括を除く)
実施期間	令和7年12月22日(月)～令和8年5月14日(木)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

対象数	有効回答数	有効回答率
602 件	91 件	15.1%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。

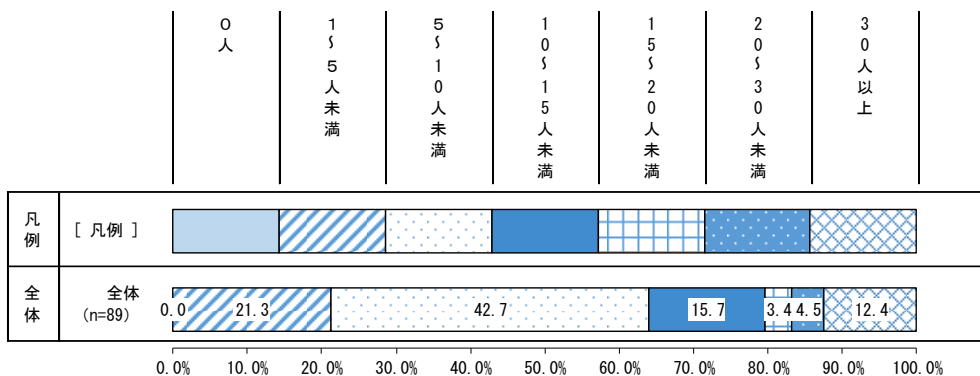
2. 調査結果

(1) 介護人材実態調査（事業所票）

● 貴事業所の職員数は、常勤換算で何人ですか。

○ 常勤換算職員数について、「5～10 人未満」が 42.7%で最も多く、次いで「1～5 人未満」が 21.3%、「10～15 人未満」が 15.7%となっています。

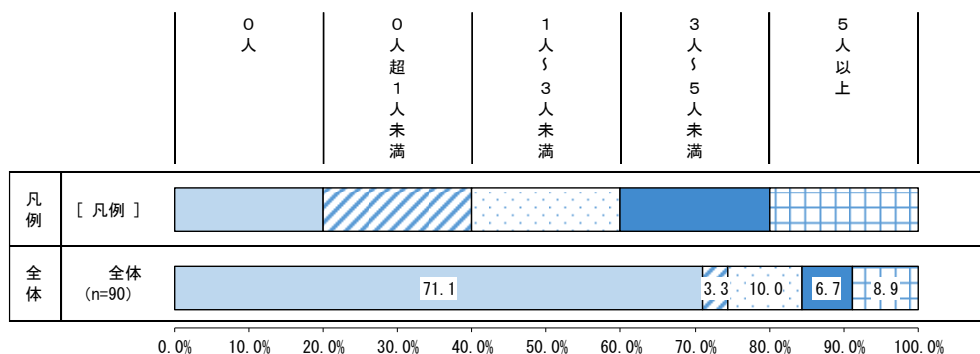
【常勤換算職員数】



● 貴事業所における外国人人材の受け入れ数は、常勤換算で何人ですか。

○ 常勤換算外国人人材受け入れ数について、「0 人」が 71.1%で最も多く、次いで「1 人～3 人未満」が 10.0%、「5 人以上」が 8.9%となっています。

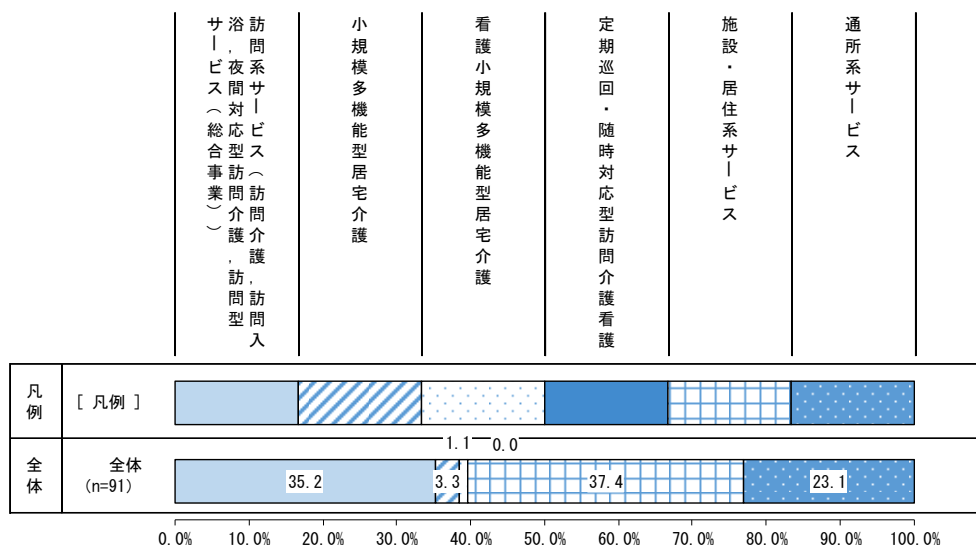
【常勤換算外国人人材受け入れ数】



●問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つを選択）

- サービス種別について、「施設・居住系サービス」が37.4%で最も多く、次いで「訪問系サービス（訪問介護，訪問入浴，夜間対応型訪問介護，訪問型サービス（総合事業））」が35.2%、「通所系サービス」が23.1%となっています。

【サービス種別】

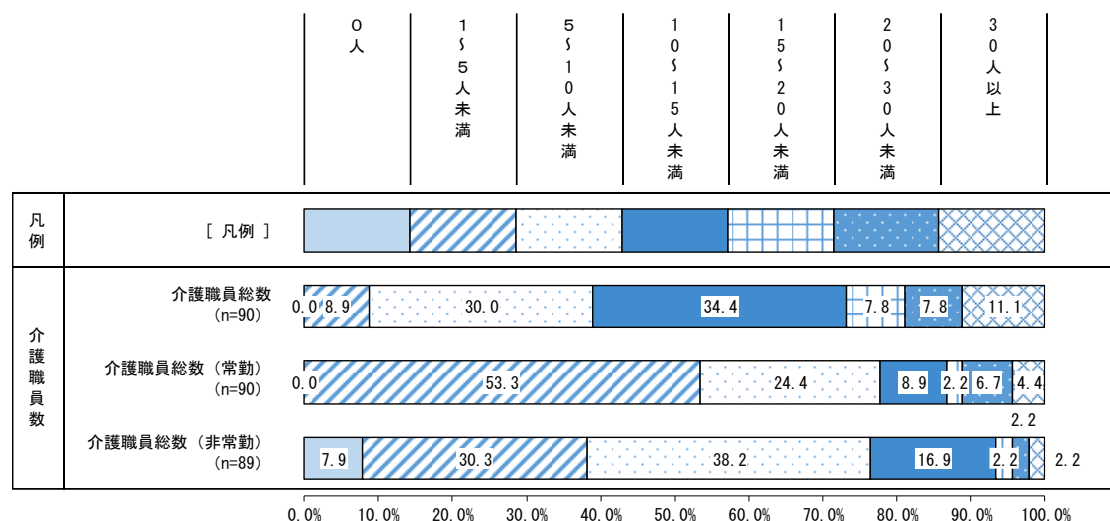


●問2 貴事業所（問1で選んだサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

（1）貴事業所における介護職員の総数をお答えください。（半角数字を記入）

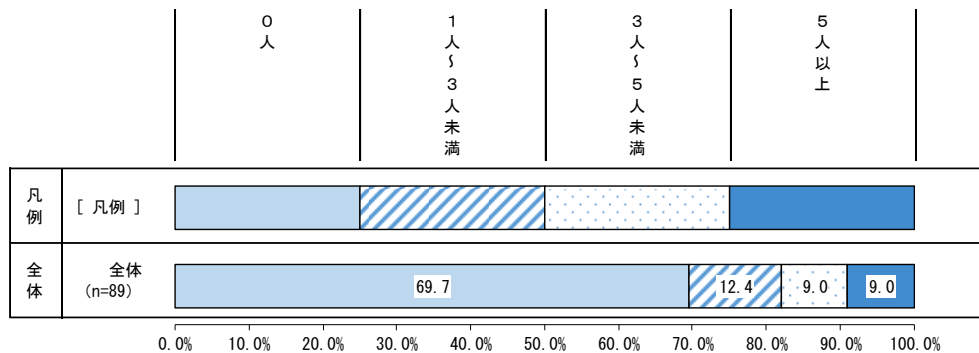
- 介護職員総数について、「10～15 人未満」が 34.4%で最も多く、次いで「5～10 人未満」が 30.0%、「30 人以上」が 11.1%となっています。
- 介護職員総数（常勤）について、「1～5 人未満」が 53.3%で最も多く、次いで「5～10 人未満」が 24.4%、「10～15 人未満」が 8.9%となっています。
- 介護職員総数（非常勤）について、「5～10 人未満」が 38.2%で最も多く、次いで「1～5 人未満」が 30.3%、「10～15 人未満」が 16.9%となっています。

【介護職員総数】



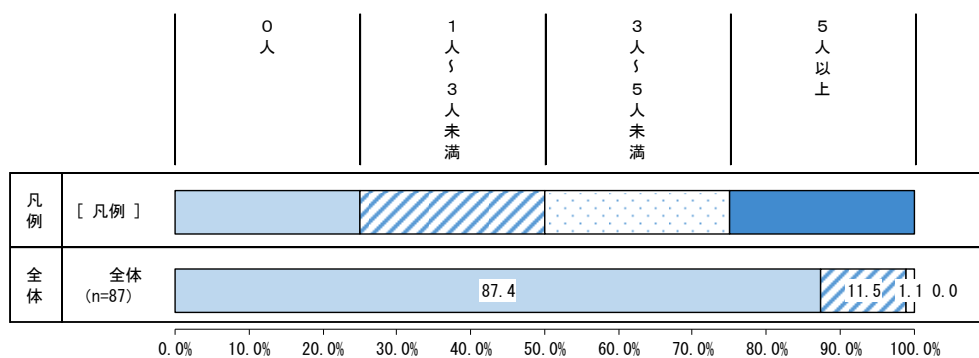
- 外国人職員数について、「0人」が 69.7%で最も多く、次いで「1人～3人未満」が 12.4%、「3人～5人未満」「5人以上」が 9.0%となっています。

【外国人職員数】



- 派遣職員数について、「0人」が 87.4%で最も多く、次いで「1人～3人未満」が 11.5%、「3人～5人未満」が 1.1%となっています。

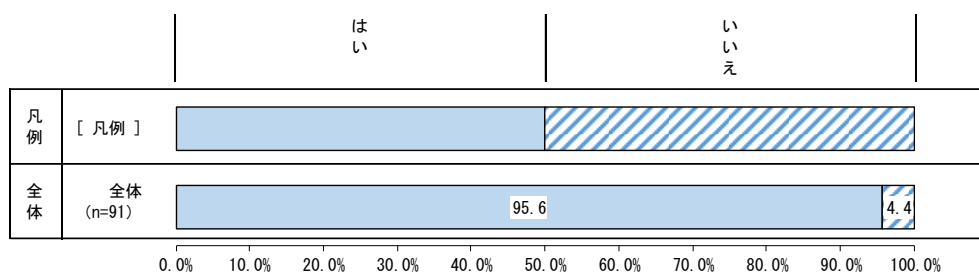
【派遣職員数】



(2) 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

- 開設から1年以上経過しているについて、「はい」が95.6%、「いいえ」が4.4%となっています。

【開設から1年以上経過している】

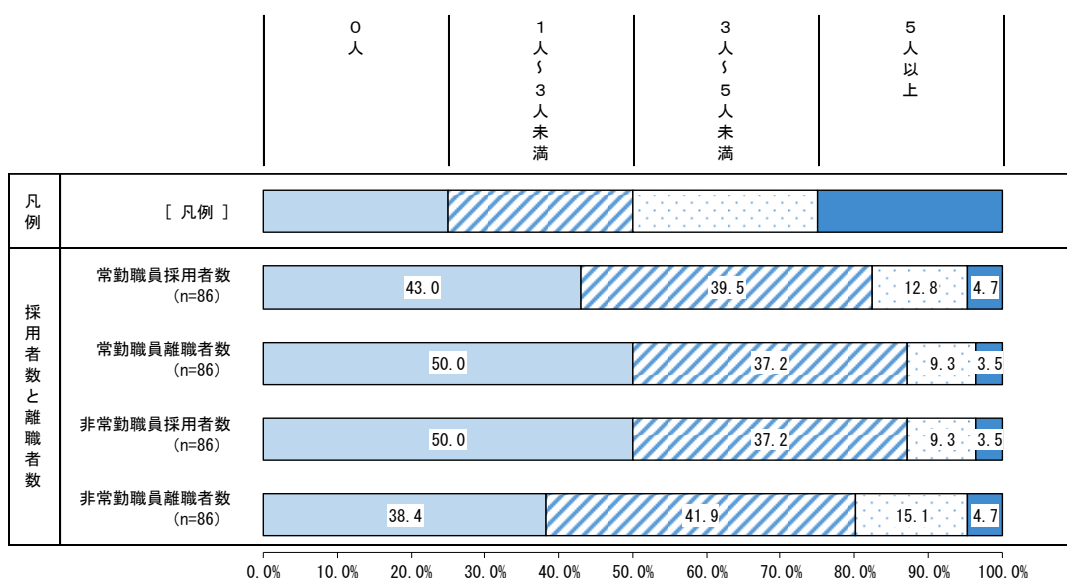


(3) 令和7年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

- 常勤職員採用者数について、「0人」が43.0%で最も多く、次いで「1人～3人未満」が39.5%、「3人～5人未満」が12.8%となっています。
- 常勤職員離職者数について、「0人」が50.0%で最も多く、次いで「1人～3人未満」が37.2%、「3人～5人未満」が9.3%となっています。
- 非常勤職員採用者数について、「0人」が50.0%で最も多く、次いで「1人～3人未満」が37.2%、「3人～5人未満」が9.3%となっています。
- 非常勤職員離職者数について、「1人～3人未満」が41.9%で最も多く、次いで「0人」が38.4%、「3人～5人未満」が15.1%となっています。

【介護職員の採用者数と離職者数】

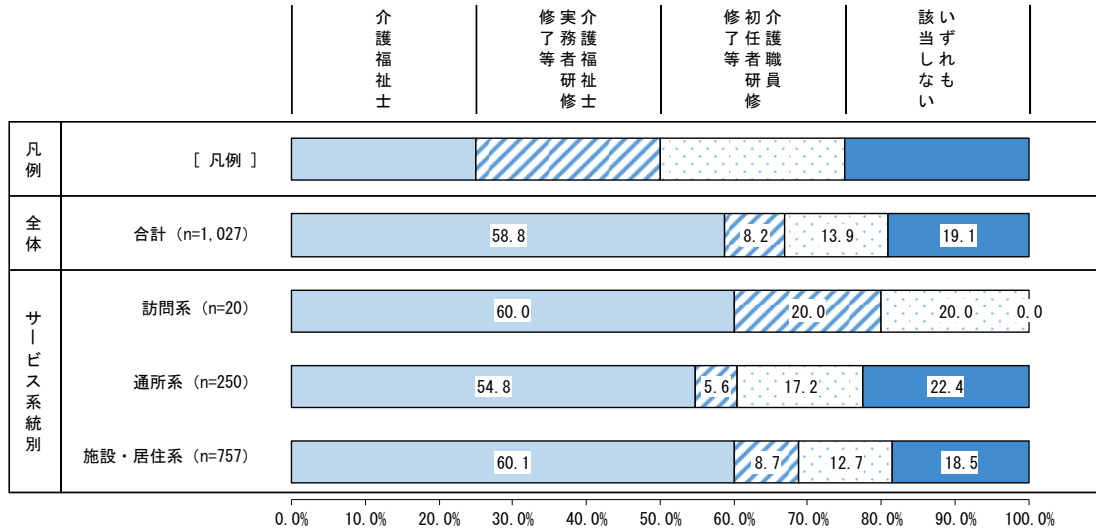


(2) 介護人材実態調査（職員票）

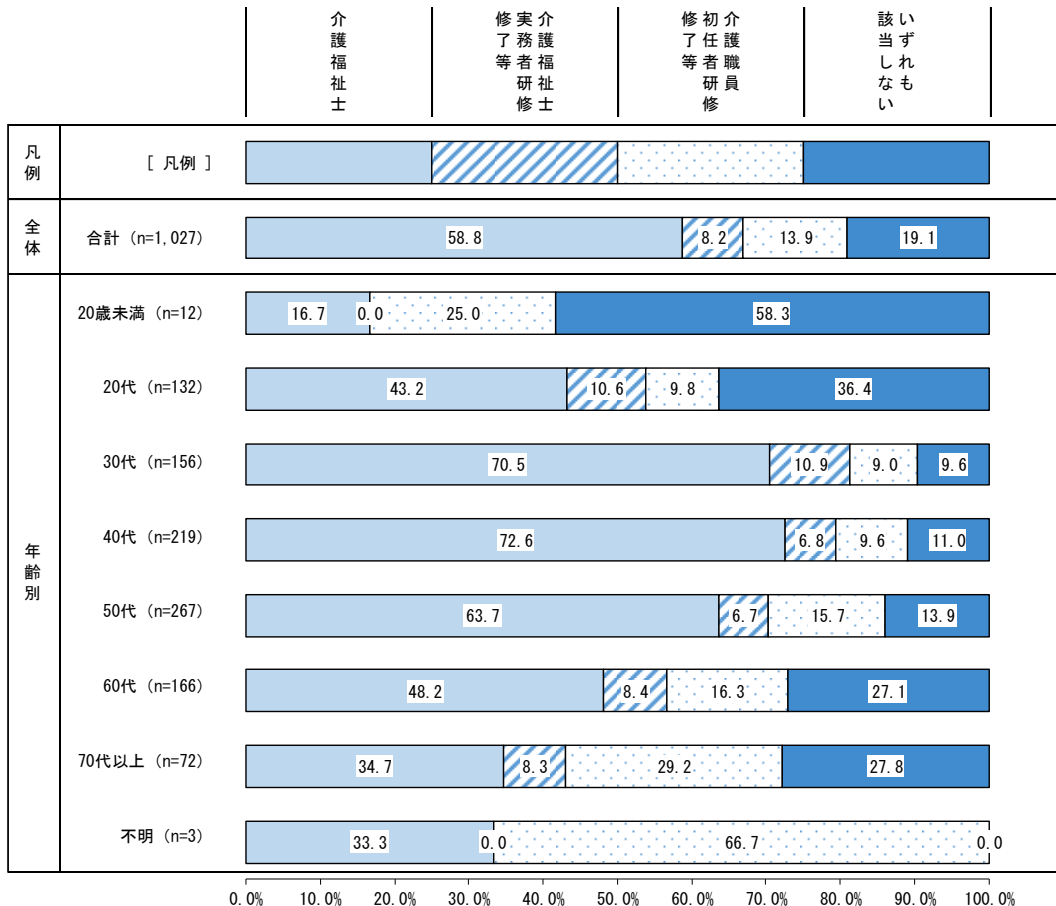
●資格保有の状況

- 資格保有の状況について、「介護福祉士」が58.8%で最も多く、次いで「いずれも該当しない」が19.1%、「介護職員初任者研修修了等」が13.9%となっています。
- サービス系統別にみると、いずれのサービスでも「介護福祉士」が最も多くなっています。
- 年齢別にみると、「介護福祉士」は30代と40代が7割を超えています。

【資格保有の状況（サービス系統別）】



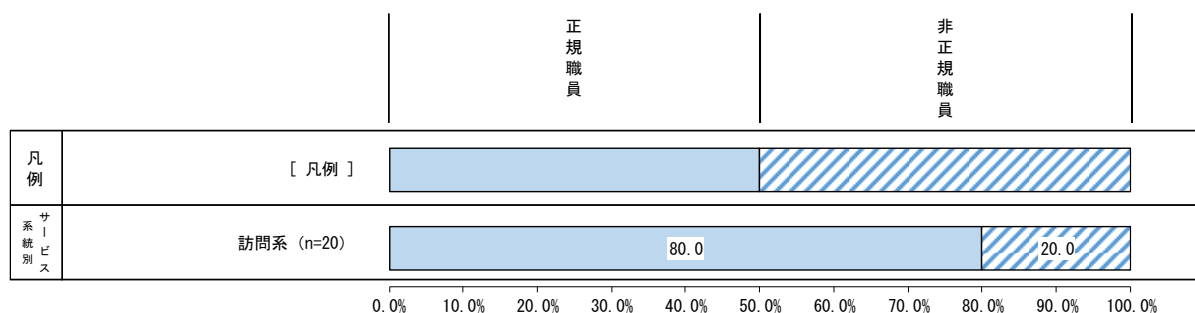
【資格保有の状況（年齢別）】



● 正規職員・非正規職員の割合

- 正規職員・非正規職員の割合について、訪問系では「正規職員」が80.0%、「非正規職員」が20.0%となっています。

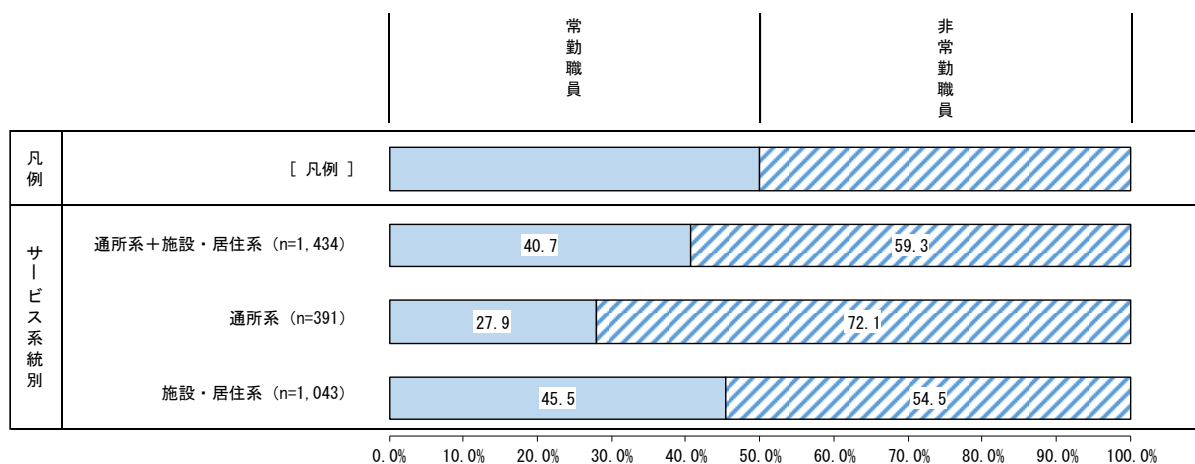
【正規職員・非正規職員の割合】



● 常勤職員・非常勤職員の割合

- 常勤職員・非常勤職員の割合について、通所系＋施設では「常勤職員」が40.7%、「非常勤職員」が59.3%となっています。

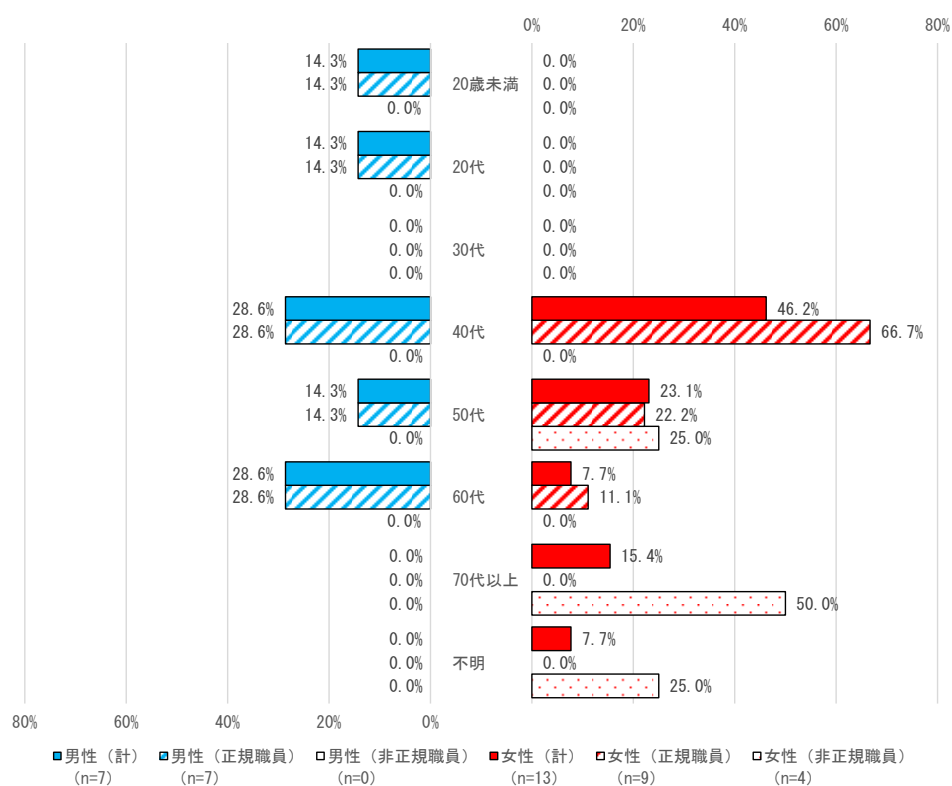
【常勤職員・非常勤職員の割合】



●性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系）

○ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系）について、男性では「40代」「60代」が28.6%で最も多く、女性では「40代」が46.2%で最も多くなっています。

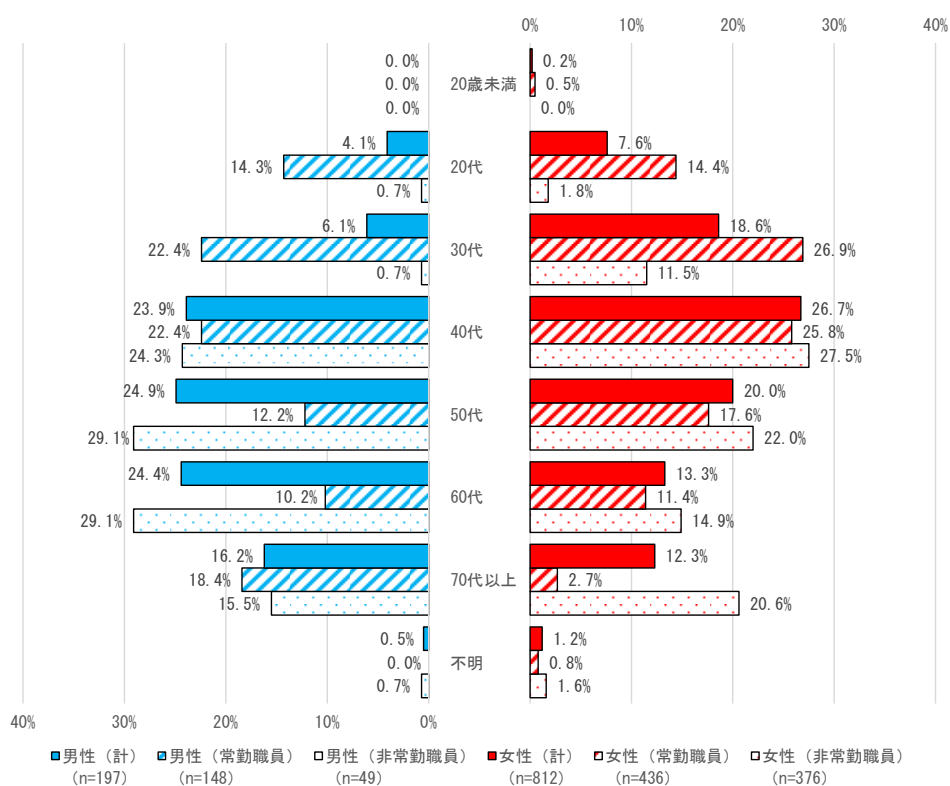
【性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系）】



●性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系＋施設・居住系）

○ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系＋施設・居住系）について、男性では「50代」が24.9%で最も多く、女性では「40代」が26.7%で最も多くなっています。

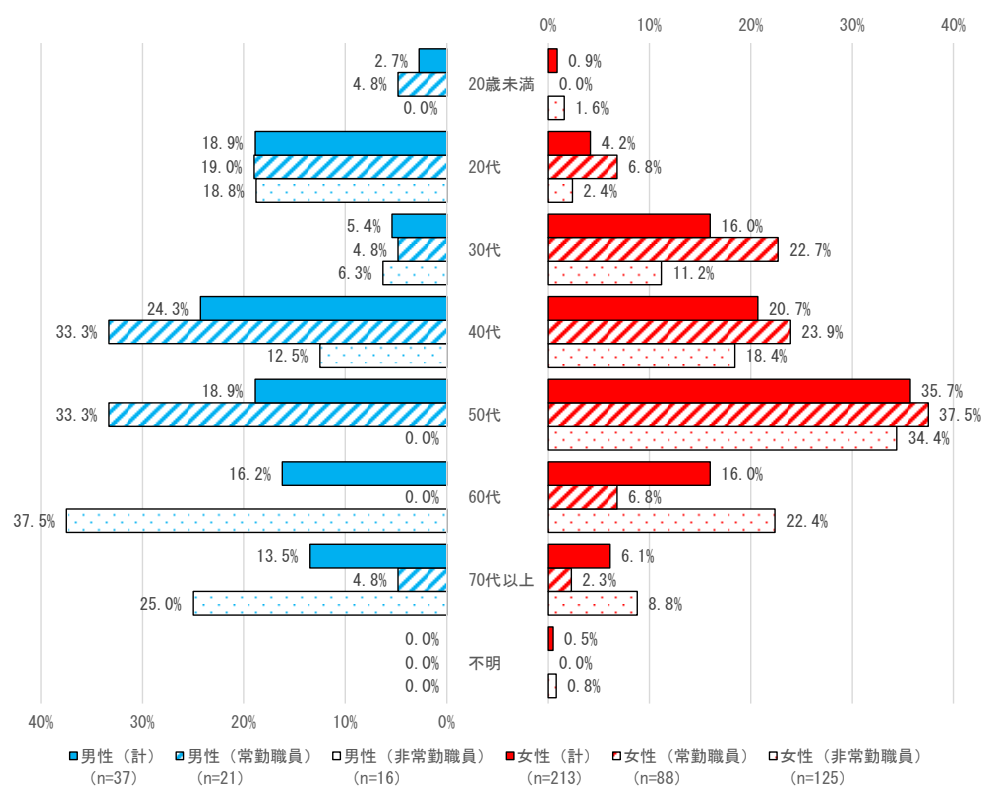
【性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系＋施設・居住系）】



●性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系）

○ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系）について、男性では「40代」が24.3%で最も多く、女性では「50代」が35.7%で最も多くなっています。

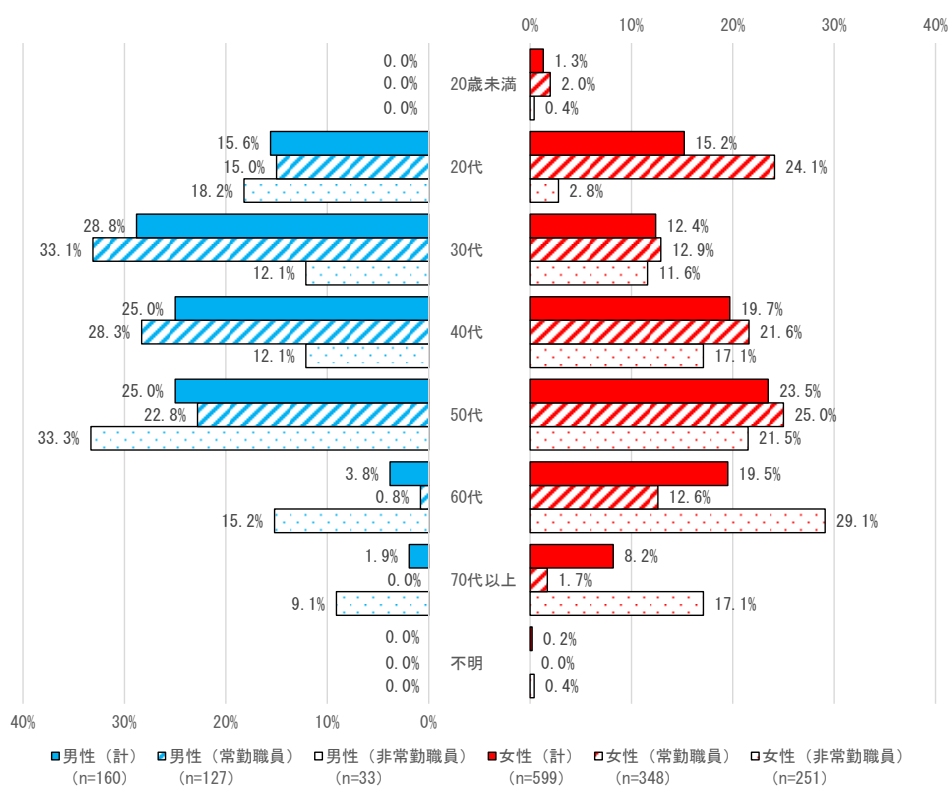
【性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系）】



●性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系）

○ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系）について、男性では「30代」が28.8で最も多く、女性では「50代」が23.5%で最も多くなっています。

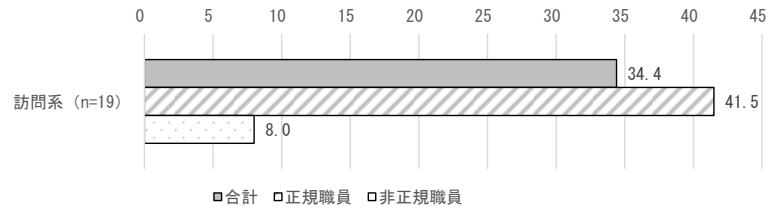
【性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系）】



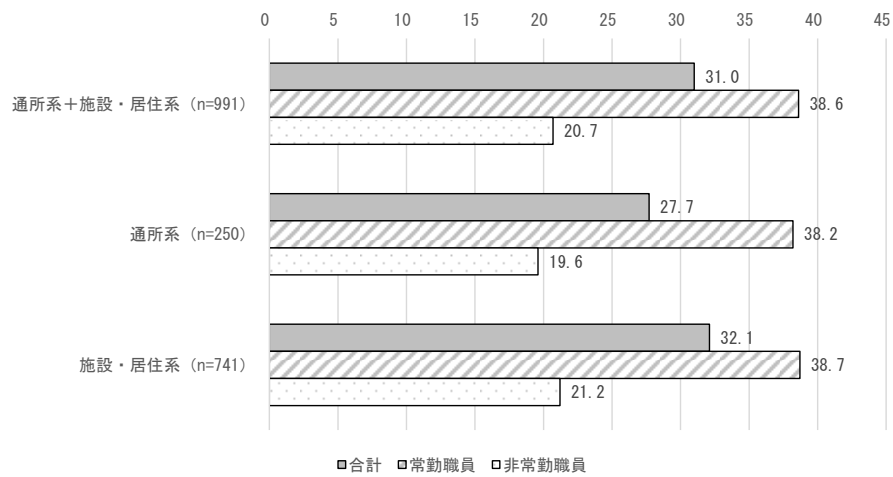
●職員 1 人あたりの 1 週間の勤務時間

- 訪問系は、34.4 時間となっています。
- 通所系＋施設・居住系は、31.0 時間となっています。
- 通所系は、27.7 時間となっています。
- 施設・居住系は、32.1 時間となっています。

【職員 1 人あたりの 1 週間の勤務時間（訪問系）】



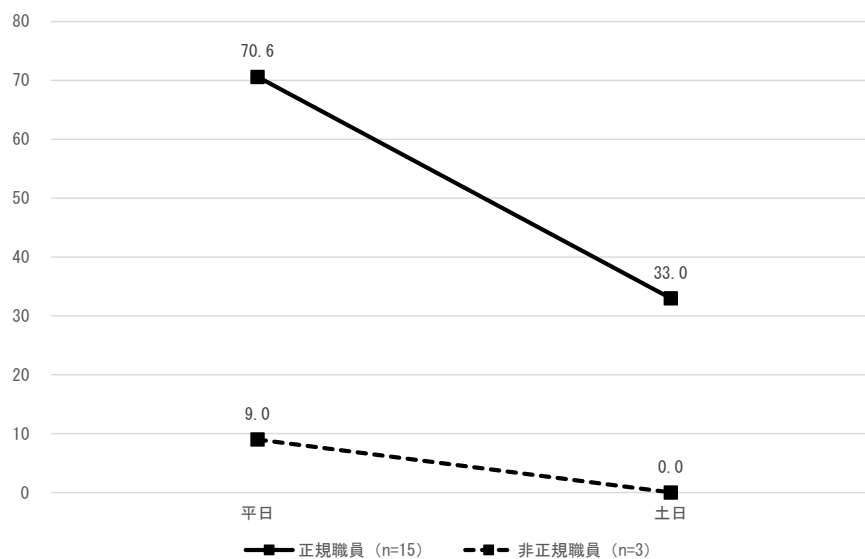
【職員 1 人あたりの 1 週間の勤務時間（通所系、施設・居住系）】



● 平日・土日別の職員 1 人・1 日あたり訪問介護サービス提供時間（身体介護）

- 平日・正規職員は 70.6 分、土日・正規職員は 33.0 分となっています。
- 平日・非正規職員は 9.0 分、土日・非正規職員は 0.0 分となっています。

【平日・土日別の職員 1 人・1 日あたり訪問介護サービス提供時間（身体介護）】



●前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

- 前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所について、「同一の市区町村内」が 59.5%、「別の市区町村内」が 39.2%となっています。

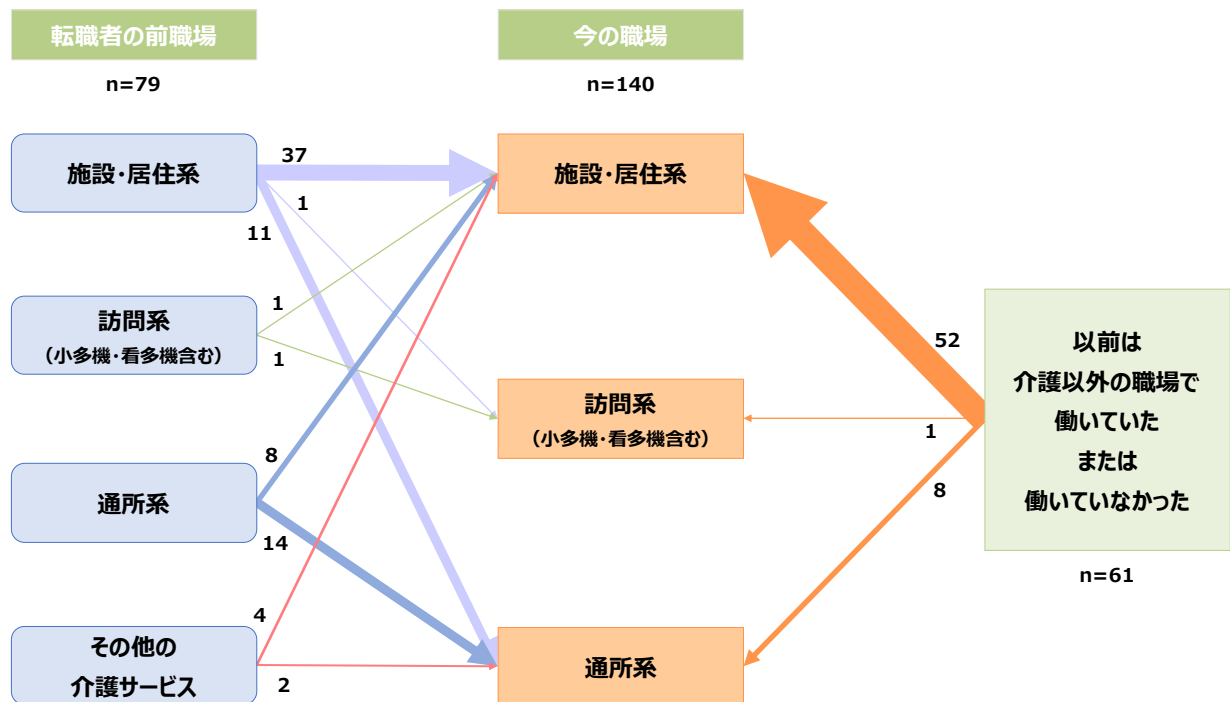
【前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所】

		現在の職場							
		全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
前の職場の場所	合計	79	100.0	2	100.0	27	100.0	50	100.0
	同一の市区町村内	47	59.5	2	100.0	20	74.1	25	50.0
	別の市区町村内	31	39.2	0	0.0	7	25.9	24	48.0
	不明	1	1.3	0	0.0	0	0.0	1	2.0

●過去1年間の介護職員の職場の変化（同一法人・グループ内での異動は除く）

- この職場へ異動する前は、6割程度が“介護系の職場”、4割程度が「以前は介護以外の職場で働いていた または 働いてなかった」となっています。

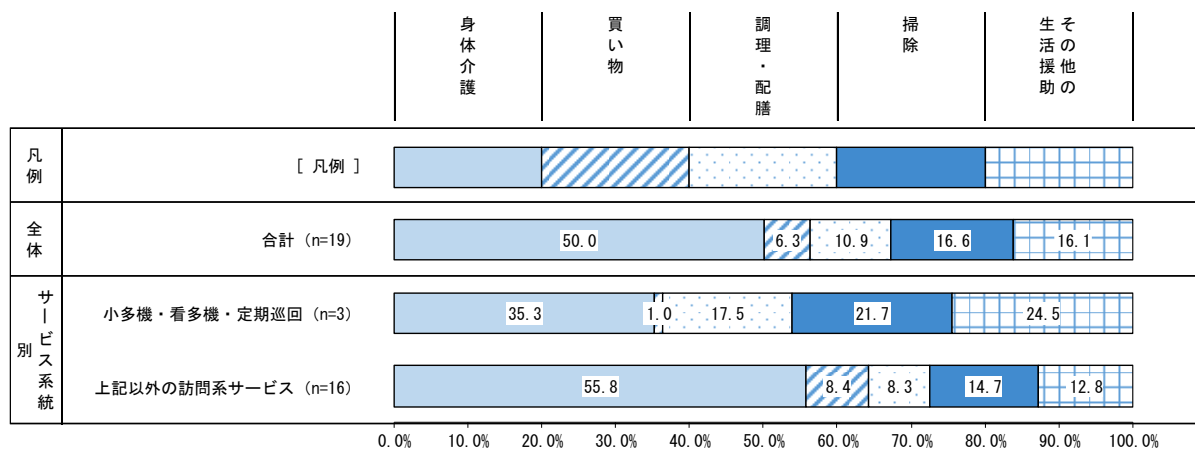
【過去1年間の介護職員の職場の変化（同一法人・グループ内での異動は除く）】



●訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）

- 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）について、「身体介護」が50.0%で最も多く、次いで「掃除」が16.6%、「その他の生活援助」が16.1%となっています。

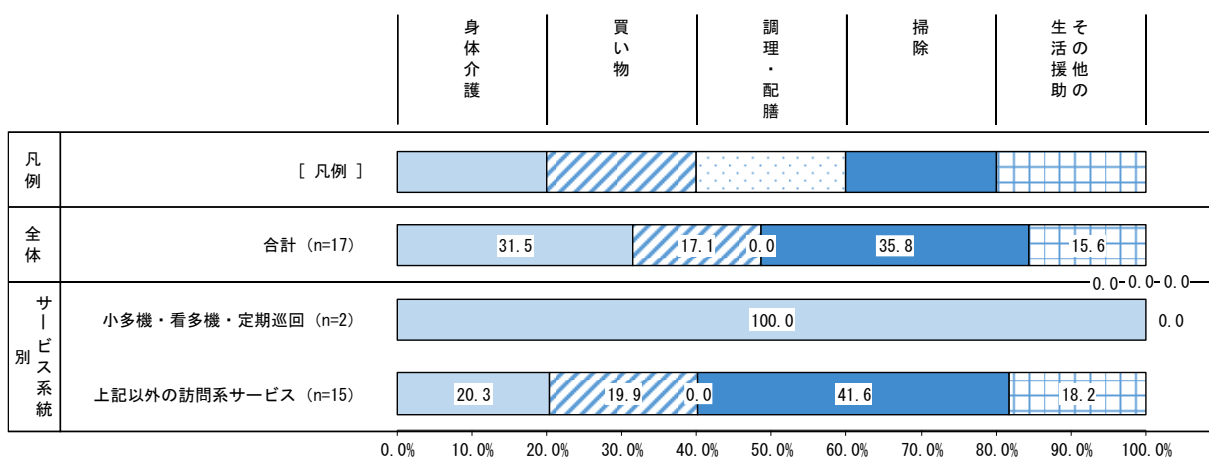
【訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）】



●訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）

- 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）について、「掃除」が35.8%で最も多く、次いで「身体介護」が31.5%、「買い物」が17.1%となっています。

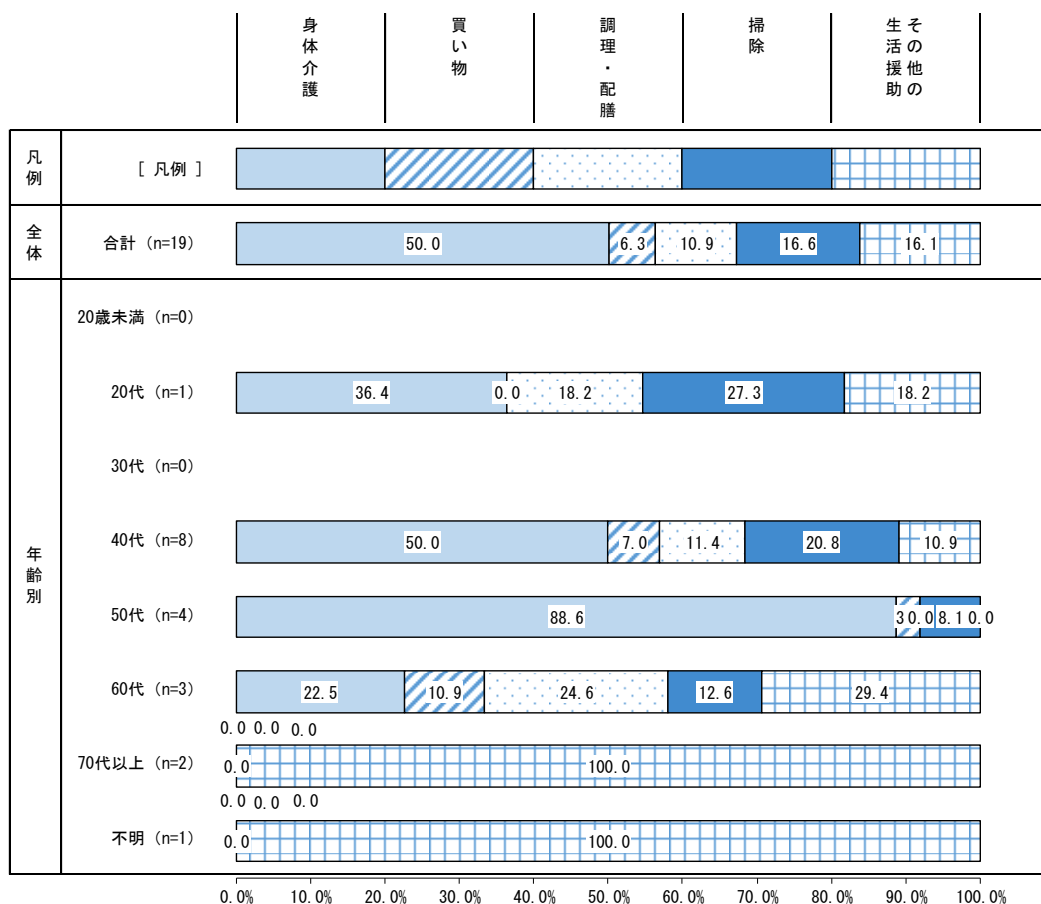
【訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）】



●訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）

- 訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）について、「身体介護」が 50.0%で最も多く、次いで「掃除」が 16.6%、「その他の生活援助」が 16.1%となっています。

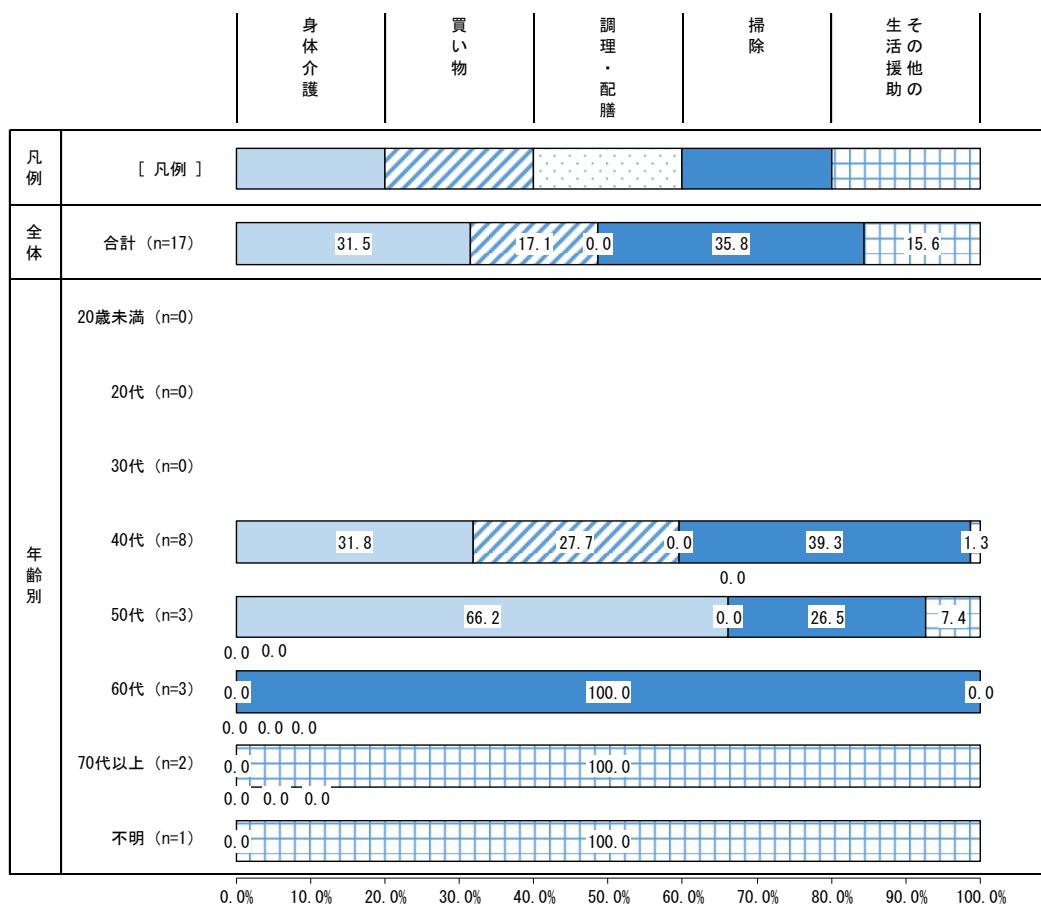
【訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）】



●訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）

○ 訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）について、「掃除」が35.8%で最も多く、次いで「身体介護」が31.5%、「買い物」が17.1%となっています。

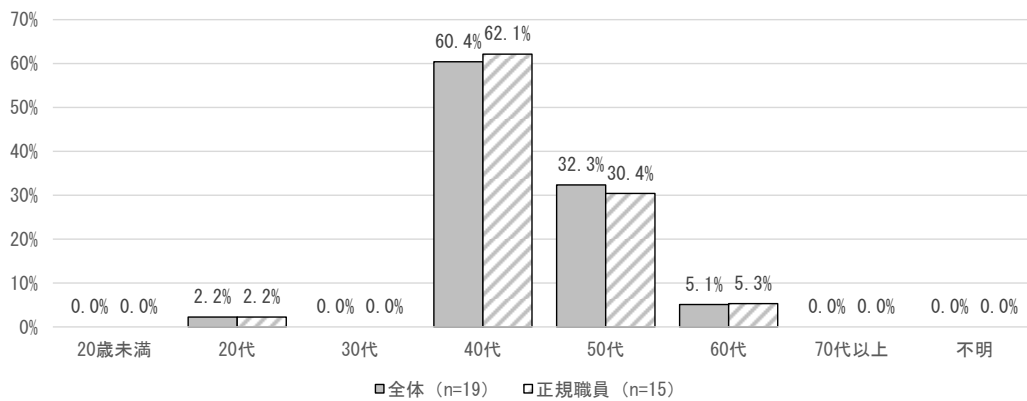
【訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）】



● 職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）

○ 職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）について、「40代」が60.4%で最も多く、次いで「50代」が32.3%、「60代」が5.1%となっています。

【職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）】



● 職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）

○ 職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）について、「40代」が31.4%で最も多く、次いで「70代以上」が26.2%、「60代」が18.8%となっています。

【職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）】

